CO2削減量

羽毛リサイクルによるCO2排出削減

#	改善項目	詳細	効果（概算数値）
1	一般用 リサイクル	焼却から 循環資源へ	数値: 246t-CO2の排出削減 対象期間: 2015年6月～2019年9月 注）現在も継続中
2	業務用 リサイクル	焼却から 循環資源へ	数値: 144t-CO2の排出削減 対象期間: 2014年3月～2018年2月 注）現在も継続中

他プロジェクトによるCO2排出量削減

#	改善項目	詳細	効果（概算数値）
1	小型貫流蒸気 ボイラー（2台）	重油から LPガスへ	数値: 66t-CO2/年の二酸化炭素排出量削減 （対象期間: 2014年8月～現在）
2	・小型貫流蒸気 ボイラー ・水冷式コンプ レッサー ・焼却炉	使用時に 熱回収	数値: 310t-CO2/年の二酸化炭素排出量削減 対象期間: 2018年3月～2019年2月 使用時に熱回収を行い、65℃の温水 （2,000t/年）を生成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

公的プロジェクトへの参加（一部）

2020年11月
経済産業省、環境省及び農林水産省とのCO2削減プロジェクト
「J-クレジット制度」に正式認証

J-クレジット制度
J-CREDIT SCHEME
クレジット認証証

プロジェクト番号 ： JCS-PJ00086

プロジェクトの名称
羽毛リサイクル工場における高効率ボイラー導入による
CO2 削減プロジェクト

プロジェクト実施者名
河田フェザー株式会社

代表者氏名
河田　敏勝　殿

認証を受けたクレジット量
268　t-CO_2
（識別番号：JCL400000005978308 ～ JCL400000005978575）

クレジット対象期間
2015 年 11 月 18 日～2020 年 3 月 31 日

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、クレジット認証要件に適合すると認められるため、J－クレジット制度実施要綱に基づき、上記Ｊ－クレジットを認証いたします。

認証申請日：2020 年 10 月 23 日
Ｊ－クレジット制度　制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

2020年10月
経済産業省主催のCO2削減プロジェクト「J-クレジット制度」の
中部地区代表事例として講演（250社参加）

2020年4月
環境省主催のCO2削減プロジェクト
「中小企業向けSBT・再エネ100%目標設定
支援事業」に全国17社が選出

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任

技術革新により、高い生産性と安全性を

積極的な設備開発と導入からマーケットの成長促進を

- アカやホコリを取り除き、敏感な子供や女性も安心・安全に使える世界トップレベルの清潔な羽毛を生産
- 世界中から選りすぐった高品質の羽毛を生かし、世界最高水準の軽さ、暖かさ、かさ高、反発力を有する羽毛を提供
- 羽毛の品質試験におけるJIS規格及び羽毛品質基準の国際ルールの策定などに携わる

精製加工前（左）と後（右）（共に1g）

日本最大の羽毛洗濯脱水機

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

6 安全な水とトイレを世界中に

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

安全な水と住み続けられるまちづくりを

貴重な水を大切に使い、災害対策にも活用

羽毛を洗浄するために強い還元力を持つ超軟水を求め、
1991 年に名古屋から明和に移転

大台ケ原に降雨した地下水が約100年という長い年月を
かけて流れ出たここでしかとれない貴重な地下水

2009年から水ステーションとして近隣住民にも開放

超軟水かつ強力な還元水

	河田フェザー	日本の水道水
ORP(mV)	-131	＋500～600
硬度（mg/L）	3.2	50～60

※ORPとは、酸化還元電位のこと。プラスの数値ほど酸化した状態。
マイナスの数値の水は、抗酸化（還元）力の強い水と言えます。
※WHOの分類では、軟水は0～120mg/L

設備投資及び電力削減の両立を

- 白色光触媒テントについて

①照明不要な白色光触媒テント(太陽工業(株)セルフマックスK)を作業用テント(3箇所)に使用し、照明の不使用を達成

②雨でも作業可能、汚れも非常につきにくい特性を持つ

- 屋根の特性断熱材について

工場屋根に特製の断熱材を設置して外気の影響を抑え、施設内の空調使用度の削減

照明不要な白色光触媒テントを使用

工場屋根に特製の断熱材を設置

再生エネルギーの導入

2021年11月
再エネ100宣言 RE Action協議会主催の「再エネ100宣言 RE Action」に参加
羽毛業界全国初、寝装業界全国2番目、アパレル全国2番目

2022年4月
本社工場の電力は100%再エネを導入

◇再エネ100宣言 RE Actionとは:
遅くとも2050までに、企業、自治体、教育機関、医療機関などの団体が使用電力を
100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、
再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。
再エネ100宣言RE Action 公式ウェブサイトURL：https://saiene.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

3 すべての人に健康と福祉を
6 安全な水とトイレを世界中に
12 つくる責任 つかう責任
14 海の豊かさを守ろう

天然素材で、全てに優しく

「マルセイユ石鹸」のレシピを参考に開発した羽毛専用洗剤を使用し、環境にも人にも優しい羽毛を生み出す

	洗濯用マルセイユ石鹸（液状）	合成洗剤
起源	・地中海沿岸のマルセイユ地方発祥、10世紀から製造 ・1688年にルイ14世により製造方法など厳格な基準が制定され、フランス王室御用達の石けんとして「王家の石鹸」、「石鹸の王様」と呼ばれた ・主成分が100%天然由来	第一次世界大戦中（1918年～）、天然油脂が欠乏し従来の石鹸製造ができなくなり、石油を原料として開発された
成分	植物油（オリーブオイル）、天然塩、天然ソーダ、水など	合成界面活性剤、蛍光増白材、酵素、アルカリ剤、水軟化材など
原材料	バイオマス* 90%： 天然油脂（規格外商品のオリーブを使ったオイル）、天然塩、天然ソーダなど	石油
補足	・主成分が天然由来であり、分解処理しやすく、水汚染及び健康被害の可能性は非常に低い 	環境及び健康へ悪影響を及ぼす可能性が存在する： ・石油原料のため、自然界の炭素流通量を増加させる ・下水処理でも完全に分解しきれず、河川に泡となって流れ込む ・富栄養化によりプランクトンが大量発生し（赤潮）、魚類の大量死 ・皮膚障害（肌荒れ・ひび割れ・はげ・白髪）や皮膚疾患の悪化 ・カスが残留していて刺激や痛みを感じる場合もある ・経皮吸収されアトピー性皮膚炎を誘発するアレルゲンの原因となる ・他の化学物質と同じように遺伝子の中に組み込まれ胎盤を通して子から孫へと受け継がれてゆく ・製造設備の大規模化、適切な公害防止化が必要

*バイオマスとは、**「動植物から生まれた、再利用可能な有機性の資源（石油などの化石燃料を除く）」**のこと

当社は、フランス生まれの良質石鹸「デュ・サボン・ド・マルセイユ」のレシピをベースに開発した、
羽毛洗浄に特化したマルセイユ石鹸を使用しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

8 働きがいも経済成長も
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
17 パートナーシップで目標を達成しよう

現在の取り組み（事例紹介）

使用済み羽毛製品を回収し「リサイクル羽毛」として再生、CO2削減へ

＜羽毛のリサイクル事業における役割＞
回収 ： 各行政、社会福祉協議会及びアパレル・寝装メーカー
解体 ： 障がい者福祉サービス事業所「ありんこ」
生産 ： 河田フェザー（以下「KWD」とも表記）
販売 ： アパレル・寝装メーカー
普及 ： テレビ・新聞・雑誌などの各メディア

他プロジェクトでCO2排出量削減へ

1. 経済産業省及び環境省協賛のCO2削減プロジェクト参加（2015/11）
   重油からLPガス式ボイラーへの設備投資

2. 環境省主催のCO2削減プロジェクト参加（2020/4）
「中小企業向けSBT・再エネ100%目標設定支援事業」参加

3. 国連関連機関主催のCO2削減プロジェクト参加（2020/11）
「Science Based Target」へ登録
羽毛業界世界初、寝装業界日本初

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION